

令和5年9月29日(金) 新人教育技術研修 研修通信

『フィジカルアセスメント』:講師 鎌田係長 参加者:12名

研修目標 1. 急変時のフィジカルアセスメントが理解できる。
2. 急変時の報告のポイントを学ぶ。

フィジカルアセスメントとは、問診・視診・触診・打診・聴診などの身体検査を用いて患者さんの全身の情報を集約・評価し患者さんに適した対応を判断する事です。研修では、意識、呼吸、循環・ショックの前兆のアセスメント方法として神経所見の評価方法、呼吸の問診や視診、循環不全の兆候について講師から講義がありました。

事例を通して、応援を呼び患者の状況から緊急性を判断して看護師ができる初期対応についてシミュレーションしました。

また、報告の方法：SBAR(エスバー)を用いた報告・応援要請をどのように行うか学ぶことができました。



実際に異常な呼吸のパターンをスピーカーから流すと、資料と照らし合わせながらうなづいている姿があり、視覚と聴覚の両方で感じ取っていましたね。



受講者からの声

「緊急時の対応時にどうやって報告したら良いかを知ることができて良かった。」「改めて緊急時に自分がどうやって動くのかイメージトレーニングしておくことが大切だと思いました。」などの意見をいただきました。

今回の研修を通し、皆さんが今後経験するであろう急変時に必要な対応や報告について学び、イメージ化することに繋がったのではないのでしょうか。今後も共に学び、成長していきましょう。